

小池書記局長、憲法前文を引用し憲法を守る共産党の躍進を訴え にひ比例候補、福住選挙区候補が熱く訴え

4月16日鳥取県委員会は鳥取市と米子市で小池書記局長を迎えて全国遊説の演説会を開催しました。



小池書記局長は憲法前文を引

用し、「今まさに、ウクライナの人々の『恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利』が残酷な形で踏みにじられ、全世界で『平和を愛する諸国民の公正と信義』＝戦争反対の声が湧き起こっている。日本の憲法は、断固として平和を求める世界の側に立ち、ロシアのような侵略を『地上から永遠に除去』すると誓い、9条で戦争を放棄した」と指摘。

憲法と暮らしを守る日本共産党の躍進で、自民、公明両党と維新などの補完勢力による改憲と暮らし破壊の翼賛体制づくりを食い止めようと強調しました。

浅口市議選・衆院比例票を倍加、比例目標達成で2議席確保

激戦の地方選 安佐北区議補選・山口・萩・府中の3市議選の勝利を



17日投票の岡山県浅口市議選では、昨年の衆議院選挙の比例票を倍加し、さらに参議院の比例目標をほぼ達成する得票を得て、2議席を確保しました。

現在、河井事件関連の広島市安佐北区市議補選、県都山口市の市議選、そして萩市、府中市の市議選がたたかわれています。コロナ禍での暮らしを守る上でも、ロシアのウクライナ侵略を止めさせ、改憲を許さない声をあげる上でも大事な選挙です。「全ての選挙での必勝」をめざし、力を集めましょう。(写真左は安佐北区市議補選、右は山口市議選の応援に駆け付けた小池書記局長と各候補)



共産党の風を吹かせて頑張る選挙区候補

各県の選挙区予定候補は、暮らしと平和を守る日本共産党の風を吹かせて奮闘しています。岡山のすみより聡美予定候補は、「ロシアはウクライナ侵略止めよ」「若者に希望を」「地方選の勝利を」と県内を掛け回っています。